



ドキドキ 職場見学レポート

応募前職場見学…その名の通り、どの企業に応募するかを決める前に、実際に職場に行き、入社した場合に毎日何時間も過ごすことになる職場を確認したり、会社によっては一部業務を体験させてもらったり、あるいは一緒に働くことになる人たちと交流したりする機会。「こんなはずじゃなかった…」の多くは、職場見学をしていれば防げたはずのものだ。ベストな選択をするために、ぜひ応募前職場見学に参加しよう(実施していない企業もあります)。

Vol.2

ホテルムーンビーチ ムーンホテルズアンドリゾーツ(株)

今号から 3 回に渡り、就職支援員が突撃取材してきた沖縄本島の企業さんを紹介♪第 1 弾は沖縄本島・恩納村のビーチリゾート「ホテルムーンビーチ」さん！県内に数多あるホテルの中でも、特にここを紹介するのは、久米高生なら必見の圧倒的なその植栽！！このホテルでは、これらの植物を手入れしたりディスプレイしたりする「造園スタッフ」を募集している。園芸科生徒必見のホテルだ。



創業半世紀近くの時の流れを感じさせるホテルの顔、アトリウム。
館内にいながら沖縄の自然に抱かれる。



階段の踊り場にも
植え込みが。



久米島高校全体よりも 1.4 倍も広いホテル敷地。
まさに沖縄の自然そのものの、緑の大パノラマ。

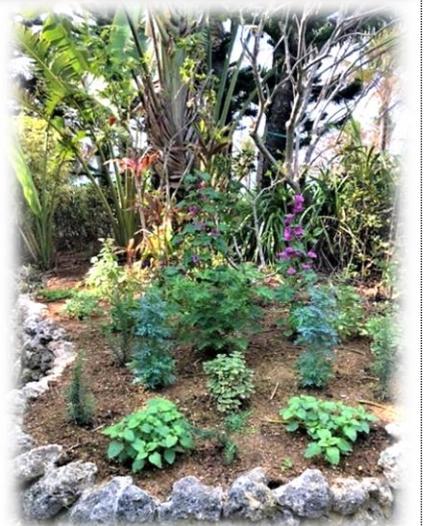


(続き)そして、ホテル敷地を一步出たところにあるのが、ホテル内の植物のメンテナンスをする造園管理エリア。久米高生にはおなじみの光景…? 10名で、鉢ものの管理から地植えの樹木の剪定などまでをおこなっている。



ホテルでは、年間を通じ様々なイベントが開催されるため、花物などはイベント開催時期に合わせて開花を調整するといった計画性が欠かせない。しかも、イベント会場が、そこに配置しようとしている植物にとって望ましい生育環境とは限らないため(冷房の風が直接当たる/自然光が届かない等)、せつかく万全の状態を当日を迎えたとっても、常に目を光らせていなければならない。生き物相手ならではの難しさだ。

ブーゲンビリアだけでも館内に700鉢が飾られている。



現在、[チャペル](#)の片すみで密かに育てられているのが、自家製のハーブたち(→)!これは、若手女性スタッフ2人が、自ら「やってみたい!」と企画して動き出した新しい取り組みなのだそう。現状に満足せず、さらに沖縄の自然そのままの、自然にいちばん近いリゾートを目指して、造園担当スタッフさんたちのチャレンジは続いていく。

ホテルムーンビーチさんの職場見学に興味を持ったら進路室 就職担当まで!なお、職場見学やオープンキャンパスの参加には、**休校日**であっても**事前に参加願**の提出が必要です。保護者直筆の署名と押印が必要ですので、**特に離島留学生は余裕をもって**手配してください。